

平成28年4月～6月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関
堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成28年6月13日（月）～平成28年6月30日（木）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	116社	58.0%
製造業	200社	118社	59.0%
卸売業	100社	57社	57.0%
小売業	100社	55社	55.0%
サービス業	200社	114社	57.0%
全産業	800社	460社	57.5%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、雇用人員は改善したが、業況判断、資金繰りは悪化し、売上高は4期連続、採算は3期連続の悪化傾向となった。

来期(7月～9月期)の予測については、業況判断、雇用人員は改善、売上高、採算はやや改善となつてはいるものの、資金繰りは悪化となっており、市内中小企業の動向については、引き続き注視していく必要がある。

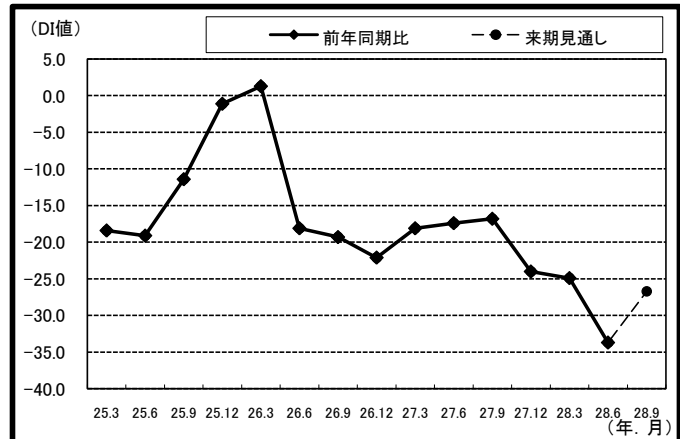
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は悪化。
($\Delta 24.9 \Rightarrow \Delta 33.7$)

・来期見通しの指標は改善と予測。
($\Delta 33.7 \Rightarrow \Delta 26.7$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業、卸売業は3期連続で悪化。小売業、サービス業も悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



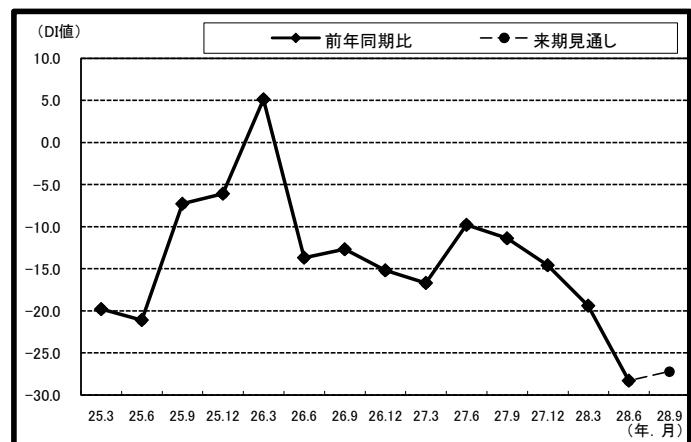
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は4期連続。
($\Delta 19.4 \Rightarrow \Delta 28.3$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 28.3 \Rightarrow \Delta 27.2$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で悪化。製造業、卸売業は3期連続で悪化。小売業、サービス業も悪化。

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は4期連続。



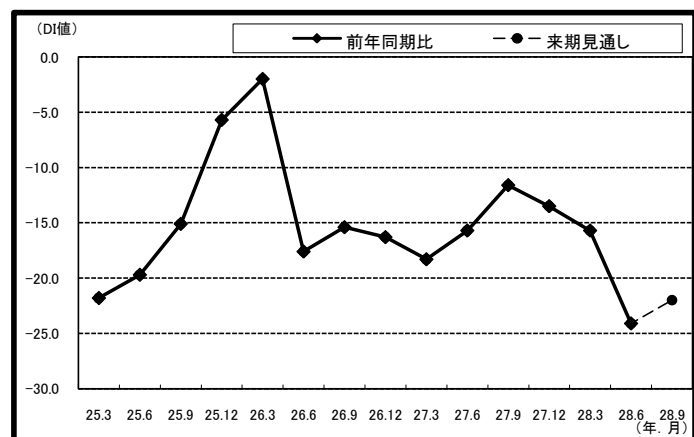
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は3期連続。
($\Delta 15.7 \Rightarrow \Delta 24.1$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 24.1 \Rightarrow \Delta 22.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業は2期連続で悪化。卸売業は3期連続で悪化。小売業、サービス業も悪化。

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は3期連続。



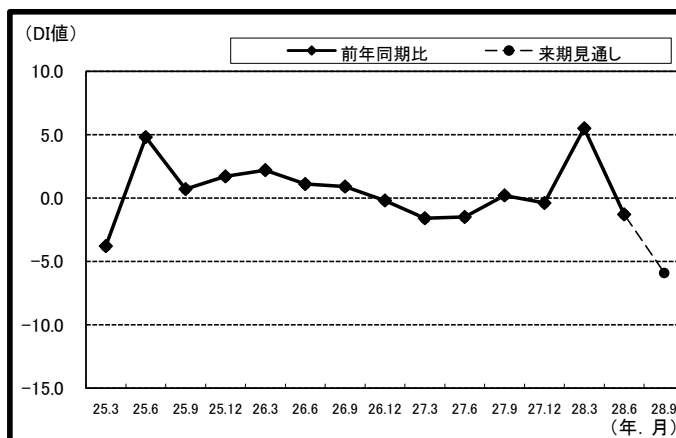
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は悪化。
(5.5⇒△1.3)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
(△1.3⇒△5.9)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや悪化。製造業、卸売業は悪化。小売業は横ばい。サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



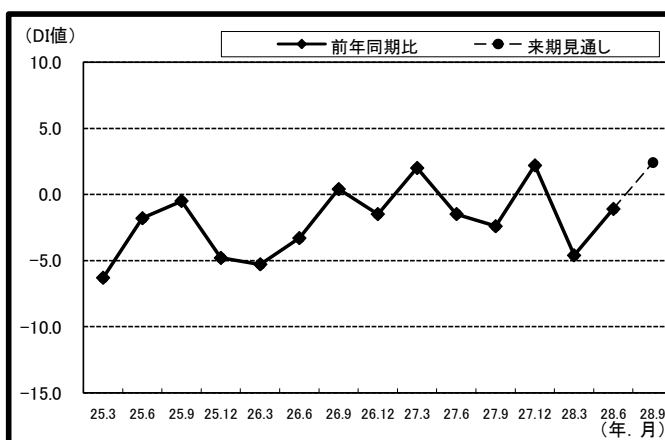
5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は改善。
(△4.6⇒△1.1)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△1.1⇒2.4)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業、卸売業は改善。小売業は悪化。サービス業は改善し、改善傾向は2期連続。

・前年同期比の指標は改善。



来期見通し

平成27年7月～9月期と比較した平成28年7月～9月期の見通しは、業況判断、雇用人員は改善、売上高、採算はやや改善、資金繰りは悪化と予測している。